



生活に役立つ

「たけはら まるごとガイド」が完成

今年度、市では、開かれた市政を推進し、協働のまちづくりを進めるために、市役所窓口での手続きやレジャー・情報などを盛り込んだガイドブックを㈱サイネックスと共同作成してきました。事業者のみなさんの協力により、10月にガイドブックが完成しました。



10月26日、市役所で「たけはら まるごとガイド」の発刊式が行われました。

発刊式では、株式会社サイネックスの福西哲男さんが、「官民協働で進めてきた『たけはら まるごとガイド』を発刊しました。市民サービスの向上の一環として地域のみなさんに活用していただきたいです。」と報告。また、小坂市長は、「市民目線で分かりやすいガイドブックを目指しました。市民のみなさんが暮らしやすくなるガイドブックができたと思います。」

「たけはら まるごとガイド」は、11月5日から、自治会を通じて市内全世帯に配布しています。自治会未加入の世帯や転入者には、市役所で配布します。ぜひみなさん、「たけはらまるごとガイド」を家庭に常備して、生活の役に立ててください。

児童がフェリーで観光ガイド



10月2日、市内で広島商船高等専門学校の地域教育プロジェクトが行われました。プロジェクトでは、竹原市と大崎上島町の児童8人が地元食材を使った「船べん」（船で食べる弁当）を調理・試食しました。また、竹原港・垂水港間のフェリー内観光ガイドも実施。

ガイドの内容は、地域に住む人たちの協力のもと、6月から学習してきた竹原や大崎上島、フェリー船内から見える島々についてです。竹原小学校の児童5人は、乗客に大久野島や町並み保存地区を紹介。自分たちの住むまちの良さを元気にPRしました。

みんなで考えよう 便利な時刻表

～使いやすい公共交通をめざして～

市民・交通事業者・行政などが一体となって市の公共交通のあり方を考える場として、竹原市地域公共交通活性化協議会を設置しています。現在、協議会の検討組織「よりよい公共交通検討分科会」では、使いやすい公共交通の時刻表を作成するため、取組みを進めています。

10月、「よりよい公共交通検討分科会」において、JR・バス・船など市内の公共交通の情報をもとめた時刻表を作成するために、市民・利用者などから意見やアイデアを聞きました。

普段、公共交通を利用することの多い、高校生や高齢者などに見本を見てもらい、意見を聞くと、「使用色が多すぎる」「目次など情報の位置がわかるものがあると便利」「施設の最寄りのバス停がわかれば便利」など、多くの意見が出ました。

今後、これらの意見を参考に、より使いやすい時刻表を作っていきます。



▶竹原高等学校の生徒による意見交換の様子。積極的に意見を出してくれました。



▶高齢者のみなさんは、文字の大きさが気になるようです。